

## 銘柄分析レポート：ストラテジックキャピタル

### 1 はじめに

株価が高値圏にある中で割安株を探し求めていると、アクティビストファンド（物言う株主）の保有している銘柄にたどり着くことがあります。

この10月も四季報CDで独自に作成したスクリーニング条件を用い、目を皿にしてバリュー株を探していました。その際、興味をそそられたアクティビストファンドのひとつがストラテジックキャピタルです。

ストラテジックキャピタルは、我が国におけるアクティビストファンドの草分けである「村上ファンド」の運用に参画していた丸木強（まるき・つよし）氏により、2012年に設立されました。投資方針は次のとおりです。

- 企業価値に比べて、何らかの理由により、市場で低く評価されている株に集中的に投資を行う
- 市場からの評価が低くなっている要因を改善するように、少数株主として積極的に企業に働きかけ、企業が持つ潜在的な価値を顕在化させる

バリュー投資家にとって、アクティビストファンドの活動は、カタリスト（株価上昇のきっかけ）となりえます。ホームページで公開されている、現在の投資銘柄は7社です。

- 浅沼組（1852）
- 世紀東急工業（1898）
- 東レ（3402）
- 有沢製作所（5208）
- 蝶理（8014）
- 極東貿易（8093）
- 京阪神ビルディング（8818）

このファンドは今まで、宝印刷（7921）やアイネス（9742）などに投資に行い、株主提案を通じて企業が持つ潜在的な価値を顕在化させ、キャピタルゲインを得ています。

今回の銘柄分析レポートでは、ストラテジックキャピタルの投資銘柄の中から、2社の分析を試みます。